

## 震災被害を乗り越え施設栽培原木生しいたけを再出荷！

前号(林業普及現地情報2013-33号)で生産再開した生産者が、平成25年11月21日に地方卸売市場大船渡青果(株)(以下「大船渡青果」という。)に再出荷しましたので、その概要を報告します。

大船渡青果は東日本大震災津波により被災し、平成25年3月に施設の復興工事を終え営業を再開しました。被災により、生産及び集出荷体制ともに未だ整っていない状況です。

### 1 再出荷の概要

再出荷されたきのこは、生産再開したY氏が平成25年春に植菌したもので、ハウス内で収穫したきのこを傘の開き及びサイズごとに選別・梱包したものです。今回は100g入りが150パック出荷されました。

主力商品はBM品(傘が少し開いた中サイズのもの)です。



パック詰め原木生しいたけ

### 2 せりの状況

大船渡青果の営業部長から「安全安心で震災前と同等な品質のきのこが再出荷されたので、積極的な取引をお願いしたい」と口上が述べられた後にせりが始まり、仲買人は活発に競り落としていました。買い方からの理解も得られ、1パック150～100円と震災前より1～2割高く取引されました。



営業部長による再出荷の説明

### 3 おわりに

今後も引続き関係機関と連携して、安全安心なきのこの生産体制を構築する予定です。



せりの様子